



平成 23 年 2 月 15 日

各 位

会 社 名 大 幸 薬 品 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 柴 田 高
(コード番号：4574 東証第一部)
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 財 務 本 部 長 吉 川 友 貞
(TEL. 06-6382-1135)

事業構造改善に伴う特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 23 年 2 月 15 日開催の取締役会において、事業構造改善を目的とした下記施策の実施について決議致しました。これにより、平成 23 年 3 月期第 4 四半期において、係る費用を特別損失に計上することとなりましたので、お知らせ致します。

記

1. 事業構造改善の具体的施策と特別損失計上について

(1) 感染管理事業に係る一部在庫の処分

新型インフルエンザ収束後の衛生管理製品に対する急速な需要縮小と流通在庫の増加により、当期においては、当社の感染管理事業に係る在庫も高止まりの状況にあります。このため、在庫水準の適正化や保管料削減等の財務体質改善を目的として、当社衛生管理製商品「クレベリン」シリーズのうち、今後の受注が見込まれないと判断した商品『クレベリン マスク』及び『クレベリン ハンドジェル』について、今回、3月末日を以って販売を終了することと致しました。これにより、当該商品に係る「たな卸資産処分損」約 340 百万円を特別損失に計上する予定であります。

なお、他の製商品在庫についても、当面の販売計画に対して過剰と判断し、処分を決定した場合は、係る「たな卸資産処分損」を当期中に追加計上する可能性があります。

(2) 希望退職者の募集

近年、当社の費用構造においては、事業・組織の拡大や上場等に伴い、労務費・人件費をはじめとする固定費の増加が顕著な傾向にあります。このため、当社は、利益体質への転換を図るべく、費用構造の改善を喫緊の課題としていることから、今回、下記概要にて希望退職者の募集を決定致しました。

(希望退職者募集の概要)

- ① 対象者 平成 23 年 3 月 31 日時点で満 45 歳以上 59 歳未満且つ勤続 1 年以上の正社員
- ② 募集期間 平成 23 年 2 月 16 日から平成 23 年 3 月 4 日まで (予定)
- ③ 退職日 平成 23 年 3 月 31 日
- ④ 優遇措置
 - ・本退職者に対して通常の退職金に割増退職金を加算して支給
 - ・希望者に対して再就職支援会社を通じた再就職支援

なお、当該募集において、相応の応募があった場合、200 百万円程度を「割増退職金」として、特別損失に計上する可能性があります。

2. 今後の見通し

上記「1. (1) 感染管理事業に係る一部在庫の処分」に伴って発生する損失については、平成 22 年 11 月 11 日に発表した業績予想において既に織込済みであります。一方、在庫処分に係る追加損失や希望退職者募集に係る費用の金額は現状未確定であり、また、他の要因も勘案する必要があることから、現時点では平成 23 年 3 月期の連結業績予想を修正致しません。

ただし、在庫処分に係る追加損失や希望退職者募集に係る費用については、見込まれる金額が判明次第、連結業績予想への影響、修正の有無を含め、改めてお知らせ致します。

以 上

構造改革の進捗状況



大幸薬品

2011年2月
大幸薬品株式会社



➤ トップラインの成長

選択と集中によるリソース配分の見直し

- －マーケティング戦略の見直し
- －不採算事業からの撤退
- －新規開発の抑制

➤ 利益体質への転換

損益分岐点売上高の引下げ

- －戦略・組織体制見直しによる人件費削減等

➤ 財務基盤の強化

財務リスクの早期解消、キャッシュポジションの改善

- －在庫リスク圧縮(廃棄促進、減損処理)
- －リスク資産・非稼動資産圧縮(遊休不動産等)

構造改革スケジュール(2010年11月発表)

FY10
V字回復への改革開始

FY11
営業利益黒字化

FY12
再び成長軌道へ

《トップラインの成長》

流通在庫の正常化

- 広告・販促 追加検討

リソース配分の見直し

- 不採算事業撤退・新規開発抑制

感染管理売上10億円確保 ・ 安定した事業の成長へ

- 広告・販促強化
- 海外展開の加速
- リソース再配分

《利益体質への転換》

戦略・組織 見直し開始

- 不採算事業撤退・新規開発抑制
- 海外拠点の一部閉鎖検討

損益分岐点引下げ ・ 確実に利益確保可能な体質へ

- 事業・組織・営業体制の一部変更
- 人件費を中心とする固定費削減

《財務基盤の強化》

財務リスク早期解消・キャッシュポジション改善

- 感染管理在庫の廃棄促進・減損処理
- 遊休不動産売却

FY10
V字回復への改革開始

《トップラインの成長》

流通在庫(感染管理)の正常化

《利益体質への転換》

戦略・組織 見直し開始

《財務基盤の強化》

財務リスク早期解消
キャッシュポジション改善

進捗状況

- ・「クレベリン」TVCMを前年比増量
⇒10月以降、感染管理の流通在庫が推定3億円減少
⇒期末に向けさらに減少の見通し、次期出荷に対する足枷を縮小

- ・海外拠点の再編に関する検討開始
- ・契約、派遣社員数の調整 ⇒次期 0.4億円(年間)削減見込み
- ・希望退職者の募集
- ・人事制度改革、組織改編着手

- ・感染管理在庫(自社)の大幅整理
⇒当期 特別損失3億円(以上)計上、財務リスク圧縮
⇒次期 年間製品保管料0.5億円削減見込み
⇒サンプル配布による「クレベリン」ブランドの認知度向上
- ・遊休不動産の売却
⇒当期の売却代金10.5億円
- ・遊休不動産の有効活用検討開始



大幸薬品

＜将来情報に関する注意事項＞

当資料に記載されている将来情報は、種々の前提に基づくものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり、保証するものではありません。